ひゃくごうくんのつぶやき

①2016年度の百合通信はこんな特集でした。

9号（3月）

2015年度東寺百合文書ニュース

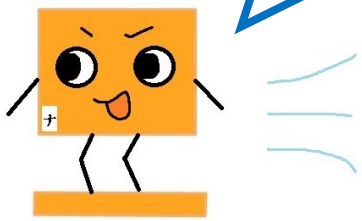
10号（6月）

り函266号「藤原範親置文」購入

11号（2月）

平成28年度東寺百合文書展開催

2016年度は、百合文書が還ってきたり、史料の引越しをしたり、慌ただしい一年だったね。



②日本中に出張していました。

鳥取市立歴史博物館
岡山県立博物館
大山崎町歴史資料館
東京都江戸東京博物館
京都府京都文化博物館
米沢市上杉博物館
石川県立美術館
滋賀県立安土城考古博物館

日本中のいろんな博物館や美術館で展示してもらいました。良い旅だったぜ・・・

百合通信バックナンバー(http://hyakugo.kyoto.jp/hyakuwa/hyakugo_tsusin)

東寺百合文書WEB(http://hyakugo.kyoto.jp/)

京都府立京都学・歴彩館　資料課
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の29
TEL. 075-723-4834　FAX. 075-791-9466
E-mail　rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp
Webページ　http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/

「東寺百合文書」の気になる情報をお届けします！

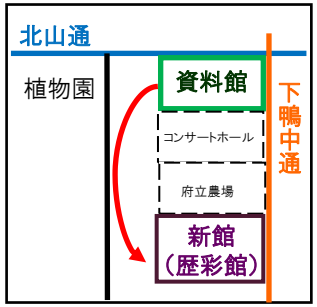
ひゃくごうつうしん

百合通信

第12号
2017.7

旧京都府立総合資料館は、京都府立京都学・歴彩館へ移転し、平成29年4月28日(金)に開館しました。
それに伴い、東寺百合文書も京都学・歴彩館へ引っ越しました！

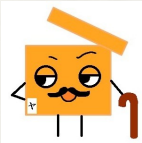
歴彩館については、ホームページを見てね。
URL　http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/



京都府立京都学・歴彩館

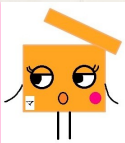
東寺百合文書展

― 人・物・情報が行き交う中世 ― 閉幕！

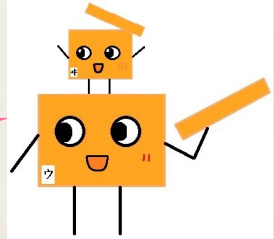


3月1日から4月23日まで、京都文化博物館で開催していた「東寺百合文書展」は、無事終了しました。

多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました！



展示解説にも、いっぱい集まってくださいました！



※展示の詳細・資料解説集は、百合百話63「平成28年度東寺百合文書展―人・物・情報が行き交う中世―」に掲載されています。

東寺百合文書シンポジウム『ひらけ！歴史の玉手箱 古文書から見える「昔ニッポン」』を開催しました。

難しくないよ！

〇基調講演〇

門井慶喜

〇パネリスト〇

三光寺由実子

鳥羽重宏

末吉敬子

小森浩一

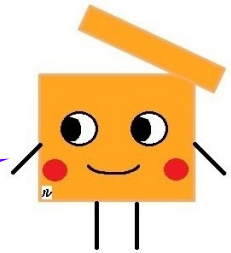
（敬称略）

2017年2月18日(土) 13時～16時30分

場所：京都学・歴彩館 大ホール

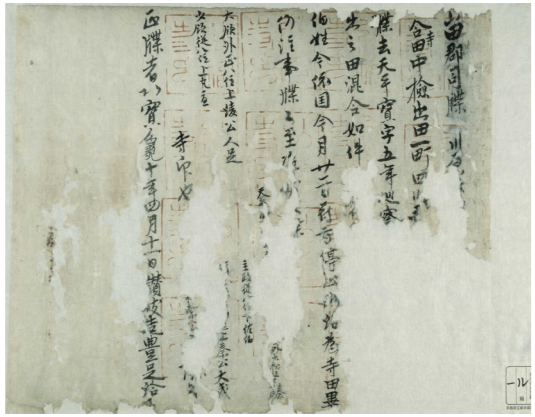
約400名の方が参加されました！

東寺百合文書のことを多くの人に知ってもらえたらいいね。



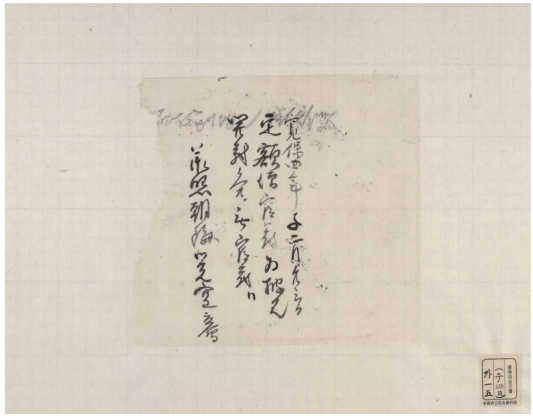
ひゃくごうくんの百合百話 ぷち

一番古い・新しい文書はどれ？



ル函1号「讃岐国山田郡司牒案」

天平宝字7(763)年



テ函230号 「定額僧官符包開封事書」

寛保4(1744)年2月23日

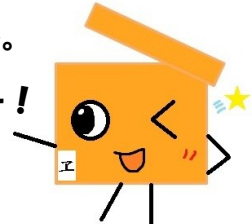
18,705点ある東寺百合文書の中で、どの文書が一番古いのか「東寺百合文書WEB」で調べてみたよ♪

そうしたら、ル函1号「讃岐国山田郡司牒案」が一番古かったよ。

天平宝字7(763)年だから、今から1254年前だって！うひゃー！

その反対の一番新しい文書も調べてみたら

テ函230号「定額僧官符包開封事書」が一番新しいみたい。

一番新しいといっても今から273年前の古文書なんだよ。

気になった人は、「東寺百合文書WEB」で調べてみてねー！